

くみあいニュース No. 138

2018. 6. 19 発行 京都工芸繊維大学職員組合発行
<http://kitunion.wix.com/kitunion>

新年度が始まって早くも2ヶ月が経ちました。組合ニュースの発行が滞っており、申し訳ありません。3月以降の主な出来事についてご報告いたします。

ご還暦のお祝い

2017年度にご還暦を迎えられた組合員は14名おられました。3月2日（金）に、例年どおり、プラザKITにご招待して昼食を取りながら歓談をするお祝いの席を設けました。今年は6名の方に出席していただくことができました。欠席された方も含め、全員にお祝いの記念品を差し上げました。

新学長と執行部との会見

5月21日（月）午後2時30分から午後3時まで、組合執行部と今年4月から学長になられた森迫先生と会談をしました。大学側から、森迫学長、吉本理事（副学長）、渡部理事（事務局長）、田中人事労務課長らが出席し、組合からは、老田委員長、宝珍副委員長、塚本過半数代表者（松ヶ崎）、秋野過半数代表者（嵯峨）が出席しました。

挨拶の後、本学のおかれている状況や学長が思い描く将来像等について学長と懇談しました。昨年度末、組合の新執行部が決まった時に、古山学長（当時）と会談を行いました。その時点で森迫理事（当時）が新学長に内定しており、森迫理事（当時）の考えもかなりお聞きしていました。初顔合わせの新鮮さはありませんでしたが、その分和やかに、そして率直に意見を交換できました。

特に、人件費の削減については、当面考えていないとの回答を頂き、評価できます。森迫学長が本学卒業生であることを発言され、本学への思い入れが強い印象を得、その分、大学やそこに務める教職員、そして学生にとって、より良い方向を真摯に模索する意欲を感じ取れました。

また、今後ますます大学や教職員が置かれる状況が厳しくなると思われませんが、それに対しても、組織で対応できるような体制を作っていくとの方向を述べられ、その手腕に期待したいと思いました。

過半数代表者選挙

過半数代表者は、昨年から、松ヶ崎キャンパスの過半数代表者を1名、嵯峨キャンパスの過半数代表者を1名選出することになっています。今年は、5月15日（火）に公示があり、6月6日（水）に、松ヶ崎の候補者曾根彰先生、嵯峨の候補者高野敏行先生、の信任投票が行われ、お二人とも信任されました。

これまでの過半数代表者選挙においては、職員組合から推薦候補者を届け出ており、信任投票の結果、その方が過半数代表者になっておられます。今年は、組合から松ヶ崎の候補者として曾根彰先生（機械システム工学系）を推薦することが承認され（4月26日執行委員会）、推薦候補者として届け出ていました。

嵯峨の候補者については、そもそも嵯峨の勤務者数（及び組合員数）が少ないこともあり、組合からの推薦にこだわらず、嵯峨勤務の方々にお任せしておりました。今回信任された高野敏行先生は組合員ではありませんが、組合と連携していただけたらと思っております。

レクリエーション

今年も組合のレクリエーションを行います。伏見にある月桂冠の大倉記念館を見学してから昼食を一緒にとり、その後は周辺を自由に散策、という行程です。7月28日（土）11時半に現地集合です。参加申し込み方法など、詳しいことは次の組合ニュースでお知らせします。奮ってご参加下さい。

くみあいニュースの内容については、どのようなことでも気軽にご意見をお寄せ下さい。